

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について（概要）

（1）対象

全国の小学校5年生及び中学校2年生の全児童生徒（特別支援学校、義務教育学校、中等教育学校の相当学年を含む）

【千葉県（千葉市を含む）の調査校数及び人数】

小学校：749校（48,721人）、中学校：344校（40,240人）

（2）内容

①児童生徒に対する調査

・実技に関する調査（小学校8種目、中学校8種目）

【小学校8種目】握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

【中学校8種目】握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択して実施

・質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）

②学校に対する調査

・質問紙調査（子供の体力・運動能力等の向上等に係る学校の取組）

③教育委員会に対する調査

・質問紙調査（子供の体力・運動能力等の向上等に係る教育委員会の取組）

（3）期間

実技調査：令和4年4月から7月末まで、質問紙調査：調査票到着から7月末まで

（4）結果

①体力・運動能力の状況について

体力合計点は小・中学校男女ともに全国平均を上回っているが、昨年度と比較すると0.01～0.81点下回った。

②運動やスポーツへの意識について

運動やスポーツが「好き」「やや好き」と回答した児童生徒の割合は昨年度に比べて0.9～2.5%増加した。

③運動部活動の状況について

運動部活動の一週間当たりの実施時間は全国平均を男子は68分、女子は69分上回っており、昨年度と比較すると男子は約20分、女子は約11分長くなっている。